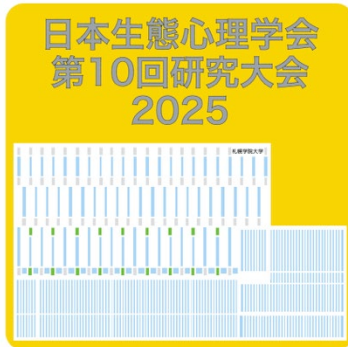


2025 年 12 月 27 日



## 日本生態心理学会 第 10 回研究大会のお知らせ 第 3 号通信

大会準備 委員長 友野 貴之 (札幌学院大学)  
大会準備 副委員長 伊藤 万利子 (札幌学院大学)  
森 直久 (札幌学院大学)

日本生態心理学会の第 10 回研究大会を以下の日程で開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

### 1. 会期・会場

#### 1.1 会期

2026 年 3 月 14 日 (土) 9:30 (開場は 9:00) より 15 日 (日) 18:45 まで (予定)

~~\*大会前日研究会: 2026 年 3 月 13 日 (金) 18:30-20:30 プレ研究会 @札幌学院大学新札幌キャンパス (本大会通信の後半のページに記載)~~

~~\*エクスカージョン: 2026 年 3 月 16 日 (月) 終日 旭山動物園訪問 @旭山動物園 現地集合現地解散 (本大会通信の後半のページに記載)~~

大会前日研究会・エクスカージョンは延期となりました。

#### 1.2 札幌会場

札幌学院大学新札幌キャンパス 2 階多目的ホール・3 階プレゼンラウンジ

〒004-8666 北海道札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 1-1

交通: JR 新札幌駅から徒歩約 6 分、地下鉄東西線新さっぽろ駅から徒歩 6 分。

URL (<https://www.sgu.ac.jp/newcampus/>)

\*大学に駐車場はございません。自家用車でいらっしゃる際は近隣の一般有料駐車場をご利用ください。

#### 1.3 東京会場

早稲田大学早稲田キャンパス 3 号館 6 階 (602 教室を主会場とする)

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

交通: 西武鉄道 西武新宿線 高田馬場駅から徒歩 20 分、東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩 5 分、東京メトロ副都心線 西早稲田駅から徒歩 17 分、都バス 学 02 (学バス) 高田馬場駅 - 早大正門、東京さくらトラム (都電 荒川線) 早稲田駅から徒歩 5 分

URL (<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>)

2025年12月27日

## 2. 内容

### 2.1 大会準備委員企画

・招待講演1 (3月14日) [東京会場]: 講演者 中田裕士 氏: デザイナー/エンジニア  
演題「製品とともにある暮らし: 人と環境のインタラクションデザイン」

#### 企画概要

デザインの分野では、ノーマンによって提唱された「アフォーダンス」が広く受け入れられてきた。しかしそれは、実際には、アフォーダンスを際立たせる記号的な手がかり（シグニファイア）を指しており、生態心理学におけるアフォーダンスとは異なる概念である。両者は、異なる前提のもとで展開されてきており、理論的な整理が十分に進んでいるとは言い難い。このような状況のなか、近年のデザイン実践では、製品単体の設計だけでなく、人々の暮らしや社会的文脈までも射程とする「広義のデザイン」へと拡張が進んでいる。このようなデザインでは、生活環境のなかでどのような行為が可能であり、選ばれていくのかといったことが視野に含まれ、生態心理学が示す「人と環境の相互作用」とも親和的である。本企画では、複数の家電メーカーにおいてデザイン開発に携わってこられたデザイナー/エンジニアの中田裕士氏をお招きし、「広義のデザイン」を含めたこれまでの実践をご講演いただく。生態心理学のアフォーダンスにもとづく人と環境のインタラクションデザインの可能性を拓くことを本講演の目的とする。

#### 講師プロフィール

中田裕士氏: デザイナー/エンジニア。専門はインタラクションデザイン、UI/UXデザイン。早稲田大学国際情報通信研究科修了後、複数の家電メーカーでデザイン業務に従事し、Red Dot Design Award、iF Design Award、グッドデザイン賞などを受賞。また、業務外でメディアアーティストとしても活動しており、主な受賞歴にPrix Ars Electronica 2004 [the next idea] Honorary Mention など。

・招待講演2 (3月15日) [札幌会場]: 講演者 坂東元 氏: 旭山動物園 統括園長  
演題「動物の環境と行動を支える展示: 旭山動物園の行動展示」(仮)

詳細は今後の通信にてお知らせいたします。

### 2.2 研究発表

#### (1) 形態と運営方法

オープンフォーラム(口頭発表): 各発表 30分(発表 20分、質疑応答 10分)

口頭発表希望者が個人または連名で申込みをします。実際に発表をする方が責任発表者となっていただきます。なお、各オープンフォーラムの座長は、大会準備委員会から会員の方に依頼し、行っていただく予定です。

ポスター発表: 60分 ポスター発表は、個人または連名で申込みをします。実際に発表をする方が責任発表者となっていただきます。現在、ポスター発表の具体的な運用方法を検討しております。詳細については、2026年1月上旬までに改めてご案内いたします。なお、ポスター発表の時間帯に口頭発表

2025年12月27日

はありません。

シンポジウム(口頭発表): 全体 90 分(内ディスカッション 30 分程度) シンポジウム企画者が、シンポジウムのテーマを提案し、そのテーマに沿って2~3 件程度の 話題提供を取り纏めて提案して下さい。シンポジウムは全体としては、90 分以内に収めてください。話題提供は 1 件あたり 20 分、ディスカッションは、個別の話題提供に対する質疑応答・全体についてのディスカッションを合わせて 30 分程度を目安にお願いします。その他のことにつきましては、座長のことも含めて、企画者に一任します。

☆優れた発表者個人（正会員または学生正会員）に対して大会発表賞を授与します。大会発表賞の対象は、オープンフォーラム（口頭発表）・ポスター発表です。大会発表賞の選考対象になることを希望される方は、発表申込みの際に、「大会発表賞の選考対象になることを希望する」の欄にチェックを入れてください。

## (2) 発表資格

- a) 発表の申し込み時点で、日本生態心理学会の会員であり、2025 年度までの会費を納入していること
- b) 発表の申し込みを 2025 年 12 月 15 日(月)までに済ませていること（締め切りを延長しました）。
- c) 査読を通過すること
- d) 採択された発表については、発表予稿集原稿を 2026 年 1 月 31 日(土)までに提出していること（**締め切りを延長しました**）。

※ 非会員の方との連名発表は可能です。その場合には、責任発表者が、非会員の連名発表の申し込みと非会員連名発表費 1 人あたり 1,000 円の納入をしてください。また、非会員連名発表者が大会に出席する場合は大会参加費(当日参加費非会員または非会員学生)を別途納入していただきます。

※ 責任発表者になるのは、大会会期中 1 件に限ります。ただし、連名発表者についてはこの限りではありません。

※ 上記の条件は、発表形態にかかわらず同じです。

## (3) 発表申込方法

発表申込みは、2025 年 12 月 15 日(月)までに下記の Google forms よりお願いします（締め切りを延長しました）。

オープンフォーラム口頭発表・ポスター発表の発表申込

<https://forms.gle/dUx48aj7Go3uppf26>

シンポジウムの発表申込

<https://forms.gle/QLTyZuv1j4YEukdw8>

2025年12月27日

オープンフォーラム口頭発表もしくはポスター発表を希望の場合、発表申込みの Google forms に、希望発表形態（オープンフォーラム口頭発表もしくはポスター発表）、題目、発表者名、キーワード(3 つまで)、アブストラクト(400-600 字程度)等の情報を記入の上、提出してください。

シンポジウム企画を希望の場合、シンポジウム申込みの Google forms に、シンポジウム企画者が、シンポジウムの題目、趣旨(各話題提供の位置づけを含む)(400-600 字程度)、ならびに各話題提供について題目、発表者名、キーワード(3 つまで)、アブストラクト(400-600 字程度)をまとめて提出して下さい。

査読は、大会準備委員会が会員に査読を依頼して実施し、結果は 12 月中旬までに応募者に連絡します。採択の場合には、オープンフォーラム（口頭発表）、ポスター発表、シンポジウムいずれの場合にも、発表予稿集掲載用の原稿(図表を含んで A4 版 8 頁以内)を **2026 年 1 月 31 日(土)** までに提出してください。原稿の詳しい作成要領については採択時にお知らせします。なお、シンポジウムについては、企画者が取りまとめ、一括して提出して下さい。

なお、予稿原稿は、PDF ファイルの形でのみ発行し、大会参加者にダウンロード可能な状態で公開しますのでご了承ください。また、今回の予稿原稿は大会終了後に刊行される『生態心理学研究』(Vol. 18)に掲載される予定です。

## 2.2. 総会

3月14日(土)の昼休みに総会を開催する予定です。この総会では、決算報告の他、重要な案件を審議する予定です。会員の皆様のご出席をお願い申し上げます。

## 2.3. 懇親会

3月14日(土)の夜、懇親会を開催する予定です。場所につきましては今後の通信でご案内します。

## 3. 諸手続

### 3.1. 参加申し込み

参加申し込みは、**2026 年 1 月 31 日(土)**までに下記の Google forms よりお願いします（**締め切りを延長しました**）。

<https://forms.gle/8saG3rsLRc6Zr4G68>

また、環境により、申込フォームを利用できない場合は、電子メールで下記の宛先をお願いいたします。尚、メール確認の都合上、下記の件名をつけてくださいますようお願いいたします。

宛先:jsep2025@jsep-home.jp

件名:JSEP 第10回大会\_参加申込

2025年12月27日

### 3.2. 諸費用の納入

予約参加者・発表者は **2026年1月31日(土)**までに、Peatixにて諸費用を納入してください。大会

参加費・懇親会費はいずれもPeatixにてお支払いいただけます。

<https://jsep2025sgu.peatix.com/>

#### (1) 大会参加費

予約参加費: 正会員 4,000円 / 学生会員 0円

非会員 5,000円 / 非会員(学生) 3,000円

当日参加費: 正会員 4,000円 / 学生会員 0円

非会員 2,500円(1日参加券) / 非会員(学生) 1,500円(1日参加券)

連名発表費: 正会員 0円 / 学生会員 0円

非会員 1,000円 / 非会員(学生) 1,000円

#### (2) 懇親会費

懇親会は**事前予約制**です。**当日参加はできません**のでご注意ください。

参加を希望される方は、**2026年1月31日(土)**までにPeatixにて懇親会チケットをご購入ください。

懇親会費: 5,000円 / 学生 1,000円

### 3.3. 宿泊:

宿泊の手配については学会では行いませんので、各自で手配されますようお願いいたします。札幌での宿泊予約は早々に埋まる傾向にあり、また高額になることが予想されますのでお早めのご予約をお願いいたします。また、旅行会社が宿泊施設を押さえていることがありますので、そちらへのお問い合わせを(あるいはパック旅行のご購入を)お願いいたします。

会場となる新札幌には以下のホテルがございます。

#### ・ アークシティホテル

北海道札幌市厚別区厚別中央2条5丁目6-2

札幌学院大学新札幌キャンパスまで徒歩6分前後

新札幌駅直結

<https://www.arccityhotel.com/>

#### ・ ホテルエミシア

札幌市厚別区厚別中央2条5丁目5-25

札幌学院大学新札幌キャンパスまで徒歩9分前後

<https://www.hotel-emisia.com/sapporo/>

2025年12月27日

・ラ・ジェント・ステイ新さっぽろ

北海道札幌市厚別区厚別中央1条6丁目3-5

札幌学院大学新札幌キャンパスまで徒歩10分前後

<https://lagent.jp/shin-sapporo/>

#### 4. 重要な日程 研究発表申込締切:

研究発表申込締切: 2025年12月15日(月) (締め切りを延長しました)

研究発表採否通知: 2025年12月下旬

事前予約参加申込締切: 2026年1月31日(土)

発表予稿集原稿提出締切: 2026年1月31日(土)

#### 5. 大会に関する連絡先

日本生態心理学会第10回大会準備委員会が学会の企画・運営、その他にあっております。連絡は下記までお願いいたします。

日本生態心理学会第10回大会準備委員会

Email: jsep2025@jsep-home.jp

#### 6. 大会前日研究会 (延期になりました)

~~タイトル: 「私たちはInformation Pickupを知っているのか？」~~

~~講師: 染谷昌義 (北海道大学)・土方悠輝 (アーティスト・お茶の水女子大学非常勤講師)~~

~~日時: 2026年3月13日(金) 18:30~20:30~~

~~会場: 札幌学院大学 新札幌キャンパス (教室は決まり次第連絡)~~

~~会費: 500円 (日本生態心理学会学生会員の方は無料)~~

~~事前エントリー制 (当日参加は可能ですが、参加者人数の確認のために事前エントリーをお願いしています。ご協力をお願い致します。)~~

主催: 日本生態心理学会

共催: 認知科学会「身体・システム・文化」研究分科会

今大会初めて「前日研究会」をおこないます。本研究会では、生態心理学の最も基本的な概念である「Information Pickup」をとりあげます。

野中哲士 (2025) 「変化に浮かび上がるセルフ生態心理学の基本原則の予備的リスト」 (生態心理学研究, vol.17, 83-91) を事前課題として、染谷昌義先生 (北海道大学) によるミニレクチャーで改めて基礎を学び直します。その後、アーティスト土方悠輝さんによる体験型ワークショップを通じて、頭で理解するだけでなく、身体で感じるInformation Pickupに迫ります。

参加者同士の対話を大切にしながら、「私たちが感じたこと」を共有し、生態心理学の核心に触れる時間を過ごしませんか。大学院生や若手研究者の方々、生態心理学に関心をお持ちの非会員の方も歓迎

2025年12月27日

迎えます。自己紹介も肩書きも抜きでできるだけ気軽に。学会前夜、札幌で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

### **7. エクスカーション（延期になりました）**

日時：2026年3月16日（月）終日（詳しい集合時間・解散時間は後ほどの大会通信にてお知らせ）

会場：旭山動物園（旭州市）現地集合・現地解散

会費：入場料（大人：1000円、中学生以下：無料）

概要：

坂東統括園長に園内を案内していただきます。3月15日（日）の講演内容を聞いた後に実際に園内を巡ることで、行動展示についての理解を深めると同時に生態心理学とのつながりを考察することが今回のエクスカーションの狙いです。